（一社）北海道中小企業家同友会

くしろ支部第４回定時総会報告書

北海道同友会は 2019 年 11 月 22 日に創立 50 周年を迎えます。
50 周年を全道 6,000 名（現在 5815 名）会員で迎えるため
くしろ支部では 720 名（現在 708 名）を目指しています。

2019 年 4 月 25 日（木）
18：20～21：30
於：ANA クラウンプラザホテル

＝＝＝　式　次　第　＝＝＝

18:20 開会

開会挨拶

(一社)北海道中小企業家同友会　くしろ支部　　支部長　長江　勉

北海道中小企業家同友会 2019 年度活動方針(案)の報告

(一社) 北海道中小企業家同友会　　代表理事　守　和彦　氏

＜第１部　定時総会＞18:20～20:00

議長の選出

議案第１号　2018 年度活動報告

議案第２号　2018 年度決算報告

会計監査報告

議案第３号　2019 年度役員選出

休憩　第 1 回幹事会開催

第 1 回幹事会報告

議案第４号　2019 年度活動方針(案)の提案

各地区会からの活動方針の報告

議案第５号　2019 年度予算(案)の提案

議案第６号　全道総会代議員の選出

質疑応答

採択

議長退任

＜第２部　懇親会＞20:05～21:30

開会挨拶・乾杯

北海道同友会創立 50 周年記念式典の PR

会員増強プロジェクトより PR・新会員紹介

閉会挨拶

一般社団法人 北海道中小企業家同友会

2019 年度活動方針案

中小企業家同友会 ３つの目的

1．同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強靭（じん）な経営体質をつくることをめざします。
2．同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3．同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、経済・社会・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

北海道中小企業家同友会 基本方針

＜企業づくり＞

1．経営者と社員が共に学びを深め、激変する経営環境に対応できる企業体質を築こう
2．経営指針の成文化と実践に取り組み、人間尊重経営の実践に取り組もう

＜経営環境の改善と地域づくり＞

1．中小企業憲章の精神を広め、全ての自治体に中小企業振興基本条例を制定しよう
2．会内外の連携を強め、地域経済を活性化し、持続可能な地域をつくろう

＜同友会づくり＞

1．同友会運動の実践を深め、次世代への円滑な継承をめざそう
2．会員組織率 10%をめざし、組織強化と財政基盤の充実に取り組もう
3．同友会の原点に立ち戻り、活動をみつめ直そう

2019 年度 活動の力点

スローガン 「つなぐ～原点から未来へ～」

1．6,000 名会員の達成～北海道同友会創立 50 周年を全道 6,000 名会員で迎えましょう
2．例会の充実～例会こそ原点。会員の経験を交流し、自らを高め、深く学びあいましょう
3．人を生かす経営の推進～経営指針の作成・実践、就業規則の作成・見直しを進め、共同求人と社員共育活動の活性化をはかり、人を生かす企業づくりを進めましょう
4．事業承継のために～円滑な事業承継を進めていくための学び合いを進めましょう
5．金融・税制の学習を～消費税増税の影響など、金融・税制の学習を進めましょう
6．中小企業振興基本条例の制定促進～他団体との連携を強め、条例の制定と活用を進めましょう
7．中同協札幌総会の準備～2020 年 7 月に行われる中同協札幌総会の準備を進めましょう

議案第１号　２０１８年度活動報告

≪スローガン≫

原点回帰！『人を生かす経営』への取り組みと魅力ある企業づくりを目指そう！

＜企業づくり＞

1.会員の意欲的な実践報告と人材確保・育成で企業づくりを推進

①“辞書の 1 ページ”と言われる会員の知恵や経験から学ぶ報告例会は、同友会の基本的な学びあいの場です。今年度は、各地区会で会員報告例会と、グループ意見交換を取り入れる機会が増え、多様な視点からものごとの本質を学ぶ「学び方を学ぶ」活動が広がりました。

②強靭な経営体質づくりを進めるため、羅針盤となる経営指針づくりが各地区会で推進されました。釧路地区会の「第 5 期くすり塾」(7 名)、南しれとこ地区会の「経営指針づくり研究会」、別海地区会では「経営指針成文化研究会」に加え、地域で 2 つ目となる「経営指針成文化研究会西春別塾」（5 名）を新たに開講。経営指針づくりに取り組んだ会員が各地区会例会で報告者をつとめるなど、経営指針に根差した企業づくりの普及に取組みました。

③人材確保と育成は中小企業成長の根幹であり、特に採用は喫緊の課題になりました。高校教員との就職懇談会をきっかけに、各地の高校での学内説明会や、釧路市成人式での地元企業 PR を初開催。また、社員教育活動として、電話応対研修や幹部実力養成講座、第 26 期同友会くしろ幹部大学を実施し、共に学び育ちあう環境を地域に広げるべく活動しました。

＜地域づくり＞

2.地域資源の再発見、新しい視点での企業連携で活性化を目指す

くしろ支部は広域支部であり、地域性や産業も多様です。地域資源や自然の魅力を再発見した釧根経営セミナー（南しれとこ地区会が担当)、また、くしろ支部青年部が設営を担当した「全道青年部・後継者部会交流会 in くしろ」では、道内会員企業が一堂に会し学びを深め、企業連携から地域間「連帯」が促進される機会となりました。

3.中小企業振興基本条例は地域の“経営指針”、制定の支援と実践を深める

2018 年 4 月に標津町で振興条例が新たに制定され、管内では 2 市 6 町が理念条例を有する都市となりました。浜中町でも商工会と連携し、条例制定を目指す勉強会が始まるなど、新たな動きも生まれています。釧路市では、中小企業基本条例がきっかけで、8 月に企業支援拠点として釧路市ビジネスサポートセンター k-Biz を開設。早くも実績を上げ、注目を集めています。

＜同友会づくり＞

4.経営、人、地域を支える同友会づくりを進める

北海道同友会は 2019 年 11 月に創立 50 周年を迎えるにあたり、全道 6000 名会員を目指しています。くしろ支部では、720 名会員を目指す「会員増強プロジェクト」を発足。多くの会員が地域の経営者に働きかけ、44 社が入会。会員数は 700 社を回復しました。共に学びあう仲間を増やし、元気な地域と同友会をつくる会員増強運動が展開できました。活動を通して、改めて異業種の経営者が年齢や立場を超えて本音で語り合える会の魅力に気づく機会になり、会の結束が高まりました。

＝＝＝くしろ支部 2018 年度活動のまとめ（８地区会報告）＝＝＝

≪1.釧路地区会≫==========

≪スローガン≫　*「心ひとつに力を合わせ柔軟かつ強靭な組織づくりを!!」*

＜企業づくり＞

１、会社ぐるみで学びあい、経営体質の強化を図る活動を展開しよう

①2018 年度釧路地区会経営指針委員会は第 5 期くすり塾を開催し、7 名が参加しました。「経営指針成文化と実践の手引き」に従いながら、委員とくすり塾卒業生がサポーターとなり、経営指針づくりを支援しました。今年度は、毎回の「議論が深まる食事会」、一泊合宿も実施することができ、お互いの関係性を深め、率直に議論し合う土壌をつくることができました。オブザーバーとして釧路公立大学の松野講師と学生にもご参加いただくことができました。毎回見学者を募集しましたが、会員見学者は 1 名にとどまりました。(経営指針委員会)

②くすり塾終了後に経営指針委員会を開催し、振り返りを YWT 法で行いました。Y：やったこと、W：分かったこと、T：次にやること、を明らかにし、次回のくすり塾の運営や実践の改善につなげました。くすり塾通信の発行も行い、経営指針研究会くすり塾の活動を広く会員へお知らせしました。(経営指針委員会)

③新入社員研修（16 社 19 名)、電話応対研修（12 社 19 名）など、若手社員を対象に想定した研修会を今年も開催しました。
また、中堅幹部社員向けの研修として幹部実力養成講座（3 講 7 社 15 名)、第 26 期幹部大学（8 講　10 社 12 名が受講申込）を開催し、採用から教育・定着までの一貫した人材づくりを行いました。(共育委員会)

④釧路地区会 8 月例会の設営を担当し、札幌支部共育委員長の拓北電業（株）　鈴木　暁彦氏に報告を頂きました。
「わが社の共育活動奮闘記～地道な活動の中で、社員はどのように変化したのか～」というテーマで、共育に関する自社での実践事例を報告頂いた後、グループワークで意見交換を行いました。自立した社員を育てる仕組みについて考えを深めました。(共育委員会)

⑤求人委員会は、新卒を対象に合同企業説明会を 2 回開催。5 月は釧路商工会議所と共催で 46 社・340 名が参加、8 月は釧路市と連携しながら合同企業説明会を開催し、50 社・91 名（高校生 75 名、大学等 13 名）の学生が集まりました。
大学のゼミの教授との人脈マップ作りは 14 大学、20 名との連携が図ることができ、札幌の学生の釧路企業の見学バスツアー（12/14)、合同企業説明会の U ターン希望学生の参加につなげています。また、札幌の大学生に釧路の魅力を伝えようと各大学のカリキュラムに講師を派遣していますが、今年は 3 大学 5 名となり、会員経営者が釧路の産業や、釧路の中小企業で働く魅力を紹介しました。
釧路市の成人式では釧路市や釧路商工会議所青年部と協力し、地元就職と、U ターン促進

のための PR 活動も行いました。（求人委員会）

⑥高校生の求人も年々厳しくなっていますが、6 月と 11 月に高校の進路担当教員との懇談会を開き、経営者が教員に直に中小企業の魅力を伝え、信頼関係を構築しています。その結果、2 月に釧路明輝高校で「経営者と語る会」、3 月に釧路商業高校で学内説明会を初開催することになりました。また、「就業規則見直しセミナー」を開き、定着力を上げるためにも社内体制の整備と強化を呼びかけました。（求人委員会）

＜地域づくり＞

２、釧路市中小企業基本条例に基づいた地域づくりを推進しよう

①中小企業円卓会議を 2 回開催し、釧路市産業振興部・熊谷課長、河面主査より 2018 年 8 月にオープンした「k-Biz」設立の経緯・概略、開業後の状況について、(株)オイコス・森川社長が同友会と「k-Biz」の歩みを報告。企業支援による地域活性化の可能性について共有を図りました。（政策委員会）

②大地みらい信用金庫　釧路支店・日理支店長との金融懇談会を実施し、経済情勢や地域における金融機関の役割について改めて学び、金融機関との連携について模索。地域経済を考える懇談会では、釧路公立大学　地域経済研究センター・中村センター長より「地域に根差した地域振興」をテーマにご報告いただき、新たな地域連携・ネットワークの構築等、問題提起いただきました。（政策委員会）

③インバウンドによる観光振興をテーマに釧路地区会 11 月例会を開催。合同会社ヴェリティ・小林代表が、根釧管内の観光の現状と課題について客観的データ分析をもとに解説。参加者全員で活発に情報交換を行い、今後の釧根エリアにおける経済振興の可能性について探りました。（政策委員会）

＜同友会づくり＞

３、会員が心を一つにして活動し、一人一人が主役として輝ける同友会活動を目指そう

①学びあい小集団グループ「一歩の会」では、今年度より昼・夜例会それぞれを隔月に開催し、新会員が同友会を知り、仲間をつくるきっかけづくりの場になりました。また、恒例となったとかち支部「拓の会」との合同例会を開催し、地域間交流を深めました。（組織委員会）

②支部主催の会員増強イベント「Doyu 交流会」に向けて、ゲストへ積極的に参加を呼び掛けました。また、非会員への訪問を地区会役員や組織委員で行う等、会員増強に向けてアプローチを展開しました。（組織委員会）

③ご無沙汰会員訪問や地区会例会への参加呼びかけを組織委員が中心となり行い、参加しやすい環境づくりを目指した会員フォローに取り組みました。（組織委員会）

2018 年度の釧路地区例会一覧

開催日	報告者	テーマ	参加
5 月例会 5 月 21 日	◆「ローカルベンチマーク」、「事業性評価」とは？ 鈴木圭介税理士・行政書士事務所 所長 鈴木 圭介 氏 ◆時代が求める経営指針 リブラス（株）代表取締役 櫻井 英裕 氏	もっと知ろう！金融仲介機能のベンチマークにおける事業性評価！	31
8 月例会 8 月 8 日	拓北電業（株） 代表取締役社長　鈴木 暁彦 氏 （全道共育委員会副委員長、札幌支部共育委員長）	わが社の共育活動奮闘記 ～地道な活動の中で、社員はどのように変化したのか～	25
就業規則 “見直し” セミナー 9 月 11 日	柴崎社会保険労務士事務所 社会保険労務士　柴崎 主税　氏	就業規則見直しの重要ポイント	13
第 6 回釧根経営セミナーin 南しれとこ 9 月 21 日	シレトコファクトリー フロントランナー 大橋 勝憲 氏 ((株)味のオーハシ 専務取締役)	クマゴロンのトコトコ物語 ～ひらめき・ときめき・このゆびとまれ～	76
9 月例会 9 月 26 日	（株）北翔 代表取締役 清水　誓幸 氏（江別市）	生き方改革が働き方を変えた ～雇用に困らない会社づくりへの挑戦～	30
10 月例会 経営支援セミナー2018 10 月 4 日	（株）ブレイド・イン・ブラスト 代表取締役　中川　理巳　氏	経営品質は「人質（じんしつ)」である …心に火をつける三つの鍵！	85
11 月例会 11 月 21 日	合同会社ヴェリティ 代表　小林　真　氏	インバウンドで釧路を元気に！	28
2019 年新年交礼会 1 月 23 日	（株）北洋舎クリーニング 代表取締役　高橋　美加子 氏 （福島同友会）	あの日から私たちがつなぐ、未来へ～３．１１震災で気づいた「同友会３つの目的」の真の意味とは～	122
2 月例会 2 月 26 日	NPO 法人 和 副理事長　酒田　浩之　氏	ダイバーシティ経営の先進地域を目指す！ ～高齢者・障がい者・外国人など多様な人材が活躍できる会社づくりで採用難を打破！	23
3 月例会 3 月 26 日	（株）オホーツク大地 取締役会長　笹川　和廣　氏	わが社の事業承継～“普況時代”の事業承継に必要な視点とは～	15

≪2.厚岸地区会≫==========

1. 報告例会を基本とし、6 月例会では“経営指針”をテーマに、(株) 松立鋼機の小野社長にお話しを頂きました。経営指針研究会“くすり塾”の学びを自社でどのように実践しているのか、ご自身の体験を語っていただきました。

2. 町立厚岸病院との懇親会を 2 年ぶりに開催し、同院の先生方との交流を更に深めて参りました。
   また、3 月例会では (株) 厚岸調剤薬局の平良木社長に、身近なクスリと病気について報告を頂き、健康について考える機会となりました。

3. 12 月例会では、「ヨソモノ目線で見る厚岸！」をテーマに、地域起こし協力隊の鐘ヶ江氏と金子氏にご講演を頂きました。
   町外出身のお二人から、厚岸町についての率直な感想を伺い、今後の企業経営のヒントを探りました。
   例会終了後は望年会も行い、親睦を深めながら今後の地域づくりについて語り合いました。

開催日	内容	テーマ	参加
4 月 11 日	第 16 回定時総会	【テーマ】現代建築家の考える風水とは 【報告者】(株) WORLD-D 一級建築士事務所 代表取締役　橋川　昌弘　氏(釧路地区会　会員)	12
5 月 30 日	第 1 回幹事会		5
6 月 19 日	第 2 回幹事会		8
〃	6 月例会	【テーマ】“経営指針”を自社に活かす！ ～くすり塾を終えて 2 期目の挑戦～ 【報告者】(株) 松立鋼機　代表取締役社長　小野　徹　氏 (釧路地区会経営指針委員会　副委員長)	10
9 月 18 日	第 3 回幹事会		6
10 月 3 日	10 月例会	町立厚岸病院の皆さんとの交流会	18
12 月 3 日	12 月例会	【テーマ】ヨソモノ目線で見る厚岸！ 【講　師】厚岸町地域おこし協力隊　鐘ヶ江 賢治　氏 金　子　勇　氏	17
1 月 28 日	第 4 回幹事会		6
3 月 13 日	第 5 回幹事会		4
〃	3 月例会	【テーマ】くすりの正しい使い方と慢性腎臓病のお話 【報告者】(株) 厚岸調剤薬局　代表取締役　平良木 宣行 氏	8

≪3.摩周地区会≫==========

1. 4 月の定時総会では、(株) 川湯観光ホテルの中嶋社長に報告を頂きました。
   観光 DMO に関するこれまでの取組をお話しいただき、今後の地域振興に必要な連携などについて考えました。

2. 弟子屈高校との連携に継続して取り組みました。
   高校教員との懇談例会を今年度も開催した他、職種内容説明会や面接指導などにも参加し、地区会として地域のキャリア教育に積極的に携わりました。

3. 防災についての関心が高まる中、3 月例会では役場の中村防災対策専門官にお話しを頂きました。
   弟子屈町での災害リスクなどをお話し頂いたほか、「いざ」という時のために、企業が備えておくべきことについて学びました。

4. 会員報告例会や望年会を開催し、地区会の交流を広げる活動を行いました。
   普段顔を合わせている仲でも、報告をしてもらうことで改めて会員を知る学びに力を入れて取り組みました。

開催日	内容	テーマ	参加
4 月 17 日	第 14 回定時総会	【テーマ】「摩周 DMO」本申請を見据えて ～これまでの取組みをふりかえる～ 【報告者】(一社) 摩周湖観光協会　会長　中嶋　康雄　氏	14
5 月 29 日	第 1 回幹事会		5
5 月 31 日		弟子屈高校　職場実習事前指導	
6 月 1 日		弟子屈高校　職場実習　企業向け説明会	
7 月 20 日		弟子屈高校　面接事前指導	12
8 月 21 日	8 月例会	【テーマ】私が地域に出来ること！ ～地域を見つめる店長の想いとは？～ 【報告者】すなっくつつい　店長　筒井　貴文　氏	7
8 月 23 日		弟子屈高校　面接指導	23
11 月 1 日		弟子屈高校　コース別進路講演会	
11 月 9 日	11 月例会	弟子屈高校教員との懇談会	14
12 月 6 日		弟子屈高校　職場実習発表会	
12 月 21 日	第 2 回幹事会		4
〃	望年会		8
2 月 4 日	第 3 回幹事会		6
2 月 14 日		弟子屈高校　職種内容説明会	26
3 月 11 日	第 4 回幹事会		4

〃	3月例会	【テーマ】「もしもの時」の準備、出来ていますか？ ～企業防災と事業継続計画を考える～ 【講　師】弟子屈町総務課防災情報係 防災対策専門官　中村 英雄 氏	11
3月18日		弟子屈高校　31年度キャリア教育年間スケジュール会議	

≪4.標茶地区会≫==========

1）2017 年度より開催している「地元企業訪問バスツアー」を開催し、就職希望の高校3年生28名と教員が町内企業8社の企業訪問と職種説明会に参加。地域の企業や産業について理解を深め、現場を見ることで働く意欲や地元での就職意欲向上を目指しました。

2）2月には、標茶高校報告会（オープン例会）として、標茶高校の生徒4名が道の駅構想や地場産牛乳を使った『しべパフェ』の取組みを報告。同友会員や町民など40名が参加し、高校生目線での地域活性化のアイディアに耳を傾けました。地域において標茶高校がいかに人材育成を行い、大きな役割を担っているかを改めて知る機会となりました。

開催日	報告者・講師	テーマ	参加
第7回定時総会 4月10日	東北海道経済交流中小企業協同組合 理事長　小渡　敏雄　氏	新しい技能実習制度について	15
第1回幹事会 6月8日			6
地元企業訪問バスツアー･昼食交流会 (7月例会) 7月20日	＜訪問企業＞ ①標茶町農業協同組合 ②木下自工(株) ③（株）サトケン ④グループホーム　ぽぷらの家（グループホーム) ⑤　東部ダイハツ(株) ＜説明会参加企業＞ ・(株)笹野電気（電気工事業） ・(有)阿歴内ファーム（酪農業） ・グループホーム　ぽぷらの家（グループホーム)	1）地元企業訪問バスツアー 2）職種説明会	38
第2回幹事会 9月25日			4
東川町視察 10月13日～14日	標茶町商工会青年部主催		

第3回幹事会 12月19日			7
オープン例会 （標茶高校報告会） 2月26日		■「標茶の発展のために」（道の駅構想） ■『しべパフェ』発表会 ■標茶高校教諭との懇親会	40
第4回幹事会 3月18日			5

≪5.ルパン浜中地区会≫==========

1. 4月開催の定時総会では、地域の魅力・可能性を探るべく、初の取組みとなる会員企業によるパネルディスカッションを開催。食や観光だけでなく、地元ならではの「浜中学」も魅力の一つであると再確認。一方で、人材育成や、地域内外の連携の必要性が課題として挙げられ、地域を見つめ直すきっかけとなる総会となりました。

2. 2017年度より継続的に開催している「霧多布高校と企業の就職情報懇談会」では、出席教員と参加企業がざっくばらんに意見交換し、地元企業への理解が多いに深まりました。今後、高校と具体的にどのような連携・企画を進めていくかの具体的提案もあり、更なる発展的な取り組みが求められています。

3. 「北海道地震から企業が学ぶこと（10月例会)」、「あなたの会社の役割は何ですか（10月例会)」をテーマに各社の取組みや、将来展望をざっくばらんに意見交換する企画を実施。日頃、互いに聞くことが少なかった経営者としての思いや展望が語られ、活発に議論が進みました。

開催日	講師・報告者	テーマ	参加
第6回定時総会 4月5日	【報告者】 （有）丸吉大野商店　代表取締役 大野　裕幸　氏 熊谷牧場　代　表　熊谷　康浩　氏 赤石建設（株）　代表取締役専務 赤石　隆哲　氏 【コーディネーター】 Rec　代　表　澤辺　慎也　氏	再発見！浜中の魅力、可能性	17
第1回幹事会 6月4日			5

高校と企業の就職情報懇談会 7月19日		霧多布高校とどのような連携・企画を進めていくか	21
8月30日	浜中町農業協同組合　代表理事組合長 高岡　透　氏 赤石建設(株) 社代表取締役社長　赤石　眞　氏 タカナシ乳業(株)北海道工場 工場長　立花　貴裕　氏	北海道霧多布高等学校 第1学年進路講話	
第2回　幹事会 9月19日			3
10月例会 10月29日	参加者全員で意見交換	北海道地震、企業にどんな影響？ ～北海道地震から企業が学ぶこと～	9
第3回　幹事会 12月26日			4
くしろ支部　新春講演会＆新年交礼会 1月23日	（株）北洋舎クリーニング　代表取締役 高橋　美加子 氏（福島同友会）	あの日から私たちがつなぐ,未来へ ～３．１１震災で気づいた「同友会３つの目的」の真の意味とは～	122
2月13日		第1回　中小企業振興基本条例 学習会（商工会と共催）	12
第4回　幹事会 3月6日			7
3月例会 3月6日		あなたの会社の役割は何ですか？ ～自社の将来像、ありたい姿を考えよう～	10

≪6.南しれとこ地区会≫==========

≪スローガン≫

みなで集い、親しく語り、共に学びあおう！

1. 同友会の「3つの目的」に沿った学びあいを活発に展開しました。

例会企画を担当した各委員会・プロジェクト・会議が知恵を絞って同友会の「三つの目的」に沿った活動を企画しました。経営指針、事業承継、求人対策、会員が持つ課題に踏み込んだ話し合い例会などで、多面的な話題をテーマに多くの会員が語り合い、学びを深めました。

会員報告例会も5回開催。6人の会員が経営実践を報告しました。道研での学びを共有する機会も設けるなど、共に学びあう南しれとこ地区会らしい例会づくりを今年もさらに発展させました。

2.「中小企業振興基本条例」の具体化に向けた活動を展開しました。

南しれとこ地区会では、「中標津町中小企業振興審議会部会」の構成団体として、8 人の会員が部会に参画し、地元の中小企業を対象とした支援策、雇用拡大を目指した制度運用などの具体的方策について検討しました。部会に参加していない会員も、中標津中小企業振興基本条例をテーマにした例会で、条例がもたらした中小企業振興策を学び、その成果を確認しました。

3. 経営指針の成文化に向けた勉強会を開催しました。

「第 8 期経営指針づくり勉強会」には 4 名が登録していましたが、経営指針の発表には至りませんでした。次年度は新しいメンバーを募集して勉強会を開催する予定です。

4. くしろ支部各地区会との交流・連携を深めました。

釧根経営セミナーの設営を担当。初の二日間開催にて、各地区会からの参加者を南しれとこ地区会らしいおもてなしで迎えました。青年部、釧根農業経営部会との合同例会も開催し、積極的に他地区の支部会員と交流を行いました。また、6 月の全道総会には 6 名の代議員全員が参加。9 月に行われた道研にも 8 名参加するなど、全道各地の会員との交流も行いました。

5. 会員数は目標を超えて達成

70 社会員を目指して会員増強を行い、目標を超える 71 社となりました。入会、会員交代により経営者としての学びの場を求めた青年経営者も多く、既存の会員と共に地区会の継続的発展に向けて、踏み出せた年となりました。

＜2018 年度　南しれとこ地区会　活動のあゆみ＞

内容・開催日	報告者・講師	テーマ	参加
第 3 回定時総会 4 月 12 日	(株)トップオブ釧路　代表取締役 藤井 芳和　氏(釧路地区会　幹事長)	地域にとって必要とされる企業を目指して ～私はこんなことがあって釧路に根をおろすことを決めました～	28
経営指針づくり勉強会第 11 講 4 月 16 日			4
5 月例会(ゴルフコンペ&会員親睦懇親会) 5 月 17 日			17
第 1 回中標津町中小企業振興審議会部会 5 月 25 日			11
釧根経営セミナープロジェクト顔合わせ 6 月 6 日			9
6 月例会 6 月 26 日	中標津町経済部　経済振興課 商工労働係長　田中　道行　氏	永続可能な地域産業の発展へ向けて ～中小企業振興基本条例から生まれた取組みと成果～	19
釧根経営セミナープロジェクト第 1 回会議 6 月 29 日			13

高等学校との求人懇談会　7月12日			39
7月オープン例会(釧根農業経営部会7月例会合同)　7月18日	ushiyado　共同代表　竹下 耕介　氏 ((有)竹下牧場　代表取締役)	DOYUKAIで出会い、生まれたushiyado	28
釧根経営セミナープロジェクト第2回会議 8月23日			11
8月羅臼移動例会 8月24日-25日	報告者①：知床サライ　マネージャー 森田 将平　氏 報告者②羅臼町　町長　湊屋 稔　氏 ((有)湊屋漁業　代表取締役)	テーマ①知床サライができるまで～秘境へのいざない～ テーマ②羅臼町のまちづくり戦略 自助･共助・公助～協働と役割分担・人材育成～ (オプション企画) 豪華羅臼昆布ヒレ刈体験付き 羅臼漁港市場競り見学ツアー	16
第6回釧根経営セミナーin南しれとこ 9月21日-22日	シレトコファクトリー　フロントランナー 大橋　勝憲　氏 ((株)味のオーハシ　専務取締役)	クマゴロンのトコトコ物語 ～ひらめき・ときめき・このゆびとまれ～ (オプション企画) クマゴロンと歩く秋のキラキラKIRAWAY	76
釧根経営セミナープロジェクト反省会 10月4日			7
10月例会 10月24日	山川(株)　代表取締役　山川　優貴　氏	いまさら聞けないアスベスト	18
11月例会 11月21日	中小企業基盤整備機構　北海道本部 事業承継コーディネーター 石坂　育仁　氏	事業承継対策してますか？ ～10年先を考える～	15
望年例会 12月4日			27
第2回中標津町中小企業振興審議会部会 12月25日			19
新年交礼会 1月29日	(株)エフゾーン　代表取締役　古田亜由美　氏 (オホーツク支部　幹事 女性部「たんぽぽの会」　代表世話人)	オホーツク発！地元食材で地域に夢と希望を‼ ～夢に向かって走るエフゾーンのあくなき挑戦	45
地域ビール委員会 2月11日		3月例会のテーマを考える	11
2月例会 2月22日	東京海上日動火災保険(株) 釧路支社 支社長代理　川野　健二郎　氏	健康経営で切り拓く企業の将来 ～従業員の健康管理を経営的な視点で考え、実践しよう～	15
3月例会 3月19日	(株)ハルコーポレーション　代表取締役 田中　晴樹　氏 炭火焼肉金龍　代表　　富崎　仁友　氏	私が創業した理由！	18
第3回中標津町中小企業振興審議会部会 3月22日			12

≪7.別海地区会≫==========

2018 年度スローガン

この地から、持続可能な未来へ！

別海地区会は、2007 年 11 月に地域の期待を担って 40 社で発会しました。活発な地区会活動と共に会勢は伸び、2017 年に 10 周年を迎えより一層地域になくてはならない経営者団体として評価が高まっています。
2018 年度の活動の特徴として次の点が挙げられます。

1）支部、全道・全国の他地域との交流を進めました。
2012 年 2 月に始まった宮城同友会と別海地区会の地域間交流の一環として、2018 年度は、7 月 5 日、6 日に第 50 回中同協定時総会 in 宮城に、別海地区会から 3 名が参加。姉妹関係にある白石蔵王支部が設営した第 10 分科会に出席。別海町で見た加工体験施設にヒントを得て、同友会メンバーが中心となり設立した 6 次化加工施設「一般社団法人みのり」を見学してきました。
10 月 19 日、20 日に行われた道研 in とかちには 8 名が参加。現在に至るまで開拓精神を失わず、成長し続けるとかちの取組みを学びました。

2）別海町医療サポート隊「医良同友」の講演会も継続開催しました。小児科医長の横澤正人氏と、看護部長の竹中仁美氏の講演は、町立病院の取組みを地域住民に改めて理解していただく機会となりました。10 月に実施した医療講演会では、男の介護教室の河瀬総一朗氏と Office RENKA の赤井綾美氏は、「医良同友」初の歯科領域の講師として、持続可能な地域づくりに向けた、本人も家族も負担の少ない介護と次世代を担う子どもたちの健康な発達について学びました。

3）担当委員が同友会の３つの目的に沿った例会・活動を企画し活動を展開しました。地域の課題をとらえた例会企画として、支部例会となった「クラウドサービスを活用した働き方改革・生産性向上の取組み」や、釧根農業経営部会と合同で開催した「ホンモノを知るためのチーズセミナー」にはそれぞれ 40 名以上の参加者を集めました。

4）経営指針の成文化と実践を地域に広げるべく、西春別駅前地域で新たに「西春別塾」が開講され、月 2 回のペースで 4 名の若手経営者が同友会の歴史や理念を学びながら、経営指針づくりに向けて励んでいます。そもそも地区会単位で経営指針研究会を持つのは全国的に珍しい上、地区内に二つも研究会が存在するのは初めてのことです。11 月例会では、経営指針の大切さをテーマにした演劇も披露されました。

5）2009 年に施行された「別海町中小企業振興基本条例」の推進に向けた活動を展開しました。2017 年より地域課題プロジェクトとして、「親となる世代の確保（人口減対策・魅力的な雇用の創出)」「需要創出の促進（域内循環)」について議論を積み重ねた結果として「別海町中小企業振興提言書」を町に提出。また、会員が委員として中小企業振興検討会議に参加し、中小企業のニーズを施策に反映できるよう尽力しています。

6）90 名会員を目指しましたが、非会員への呼びかけが十分でなく、一名減の 84 名にとどまりました。地域への情報発信と青年経営者を中心とした非会員への積極的な声かけが課題となりました。

＜２０１８年度の活動のあゆみ＞

開催日	報告者・講師	テーマ	参加
第9回経営指針成文化研究会 4月17日			4
第12回定時総会 4月23日	（株）佐藤工務店　代表取締役 佐藤 聰 氏（とかち支部 政策委員長）	「十勝チーズの可能性」～建築屋がなぜチーズ屋に？～	43
第9回地域課題プロジェクト4月27日		別海町の人口減対策を地域が連携して考えるための仕組みとは～みんなが担い手、当事者として取組む、持続可能な町づくりへ～	7
「医良同友」役員会 5月16日			18
5月例会 5月24日	横関建設工業（株）　代表取締役社長　柏谷　匡胤　氏（しりべし・小樽支部 幹事）	NISEKOをガッチリ支える企業を目指して～私たち経営者の使命は、地域の未来づくり～	20
第一回別海町中小企業振興検討会議 5月29日			14
6月オープン例会（くしろ支部6月例会合同）	（株）マネーフォワード　札幌支店長　平野　龍一　氏	「働き方改革」と「生産性向上」実現に向けたクラウドサービスの活用	48
第二回別海町中小企業振興検討会議 7月3日			12
別海高校生との懇談会 7月24日			58
医良同友　活動報告会・医療講演会 7月31日	町立別海病院　看護部長 竹中　仁美　氏 町立別海病院　小児科医長 横澤　正人　氏	町立別海病院看護部の紹介『つなぐ』 これまでコドモックルでやってきたこと、これから別海病院でやりたいこと	105
札幌医科大学の地域密着型チーム医療実習に係る交流会 8月9日			82
別海高校との懇談会振返りミーティング 8月17日			8
第三回別海町中小企業振興検討会議 8月23日			12
8月例会 8月29日	別海町教育委員会　指導参事 根本　渉　氏	別海町の小・中学校におけるこれからのキャリア教育	18

		小・中学生の職業観醸成に我々ができること～若者が生き生きと働ける持続可能な地域に向けて～	
経営指針成文化研究会 西春別塾　第一講 8月31日	アドバイザー みどり建工（株）　取締役会長 山崎　宏　氏	同友会の歴史と経営指針成文化運動	8
経営指針成文化研究会 西春別塾　第二講 9月11日		「経営指針成文化と実践の手引き」の読み合わせ	4
第10回地域課題プロジェクト 9月28日		別海町の人口減対策を地域が連携して考えるための仕組みとは～みんなが担い手、当事者として取組む、持続可能な町づくりへ～	4
第四回別海町中小企業振興検討会議 10月3日			15
経営指針成文化研究会 西春別塾　第三講 9月11日		「人を生かす経営」の読み合わせ	5
経営指針成文化研究会 西春別塾　第四講 10月24日		「企業変革支援プログラム」で自社の現状を確認する	6
医良同友　医療講演会 10月26日	講師①:男の介護教室　代表　河瀬　総一朗　氏（宮城県） 講師②:Office RENKA　代表　赤井　綾美　氏（大阪府）	総合テーマ：持続可能な町づくり そのキーワードは… テーマ①：そのキーワードは『食』～食を通じて地域が繋がる～ テーマ②：そのキーワードは『次世代』～子どもたちの未来を育む発育・発達	51
第五回別海町中小企業振興検討会議 11月6日			12
第11回地域課題プロジェクト 11月6日		別海町の人口減対策を地域が連携して考えるための仕組みとは～みんなが担い手、当事者として取組む、持続可能な町づくりへ～	9
経営指針成文化研究会 西春別塾　第五講 10月24日		会社の経営力診断、ライフプラン	6
11月例会 11月20日	医療法人社団一期会 ウェル歯科クリニック　理事長　木村　也寸志　氏 野付アポロ石油（株）　代表取締役専務　島崎　哲也　氏 （有)ケイ･クリーンサービス　代表取締役　木嶋　悦寛　氏	桃太郎と共に考える まち・ひと・会社づくり～社長になった桃太郎の物語～	14
経営指針成文化研究会 西春別塾　第六講 11月27日		自社の歴史と自分の歩み、経営理念	4

第六回別海町中小企業振興検討会議 12 月 6 日			11
経営指針成文化研究会 西春別塾　第七講 12 月 11 日		事業内容の明確化	4
望年例会 12 月 11 日			17
提言書提出に向けた打合せ① 1 月 16 日			6
新年交礼会 1 月 26 日	釧路市ビジネスサポートセンター（k-Biz）　センター長　澄川 誠治　氏	「売り」を見つけて「チャンス」につなぐ！～行列のできる産業支援相談所 k-Biz の取り組み	30
提言書提出に向けた打合せ② 2 月 8 日			3
2 月例会 2 月 8 日	別海町産業振興部　商工観光課 主査　堀込　美穂　氏 主事　長尾　健汰　氏	どうする、どうなる別海町企業マップ！？～これまでの運用と、持続可能な未来に向けた次のステップとは～	14
経営指針成文化研究会 西春別塾　第八講 2 月 12 日		10 年ビジョン	6
別海町への提言書手交式・町長との懇談会 2 月 28 日			11
別海地区会&釧根農業経営部会3月オープン例会 ～ホンモノを知るためのチーズセミナーin 別海～ 3 月 5 日	第 1 部報告者:(有)竹下牧場　代表取締役　竹下　耕介　氏 第 2 部報告者：（株）白糠酪恵舎　代表取締役　井ノ口　和良　氏	第 1 部～チーズ学校短期入学報告会 テーマ：イタリアで学んだチーズ作りとその歴史 第 2 部～チーズ実食会 テーマ：チーズの味を知ろう	43
経営指針成文化研究会 西春別塾　第九講 3 月 12 日		問題提起	4
経営指針成文化研究会 西春別塾　第十講 3 月 26 日		問題解決	4

≪8.根室地区会≫==========

≪スローガン≫　*「共育、共創、共栄」進取の気性で未来を拓く*

1. 多様なテーマで例会を開催し、学びを深めました。

新会員を含む会員報告、経営戦略としてのM&A、地域経済、地域づくりなどをテーマに例会を開催。会員交流の企画を実施する等、会員相互が語り合える場づくりにも取組みました。

2.「根室市中小企業振興基本条例」運用への参画。

2015年4月1日より施行された条例に基づく、根室市中小企業振興基本条例審議会に会員が委員として継続参画し、小規模企業の支援策等の具体化について議論を進めています。

3. 例会報告書を作成・送信し、会員フォローを実施

今年度より、例会報告書を写真入りで作成し、地区会員へ送信する取組みを新たに行いました。例会へ参加していない会員へのフォローを行い、会の活動をいかに知ってもらうか、次年度も改めて取組むべき課題となっています。

4. 高校との就職懇談会を開催

根室高校と根室西高校の教員との懇談会を開催し、就職状況やキャリア教育内容の報告と、生徒参加型の企画を今後どう進めるかについて意見交換しました。会員からは高校と連携した具体的な案も提案され、地域の人材育成に同友会が果たす役割が大きいことを改めて確認しました。

5. 会員数は一歩後退

70社会員を目標に会員増強に取り組みましたが、オブザーバー参加等の働きかけが十分に出来ず、期首から1社減の66社となりました。未会員に対する参加の呼び掛けを機会にすることが課題となりました。

開催日	講師・報告者	テーマ	参加
第3回定時総会 4月19日	（有）十勝スロウフード　代表取締役　藤田　惠　氏 （とかち支部会員）	お客様に愛されて20年 ～大ヒット商品牛とろフレーク開発の舞台裏～	28
5月例会 5月28日	（株）日本M&Aセンター　営業本部　金融法人部 シニアディールマネージャー 椛田　國仁　氏	道内中小企業発展と存続のための経営戦略としてのM&A	19
6月例会 6月25日	（株）すずき　代表取締役社長 鈴木　新一　氏	根室からベトナムへ、3代目のベンチャースピリット～独立自尊経営の実践～	20
高校と地元企業の就職懇談会 7月18日		生徒参加型の企画を今後どう進めていくか	16

山高祭 2018 8 月 26 日	山高会・根室地区会交流会	ボウリング大会	16
根室さんま祭り 9 月 22 日～23 日		「炭火焼き部会」へのボランティア	10
10 月例会 10 月 25 日	神田新聞店　代表　神田　要氏 （株）根室相互自動車学校 代表取締役　宮田　敏美　氏	新幹事・新会員報告会 ～わたしの歩みと会社の話～	14
11 月例会 11 月 29 日	根室市　商工観光課 課長　　池端　昭一　氏 根室市　商工観光課 商工労政主査 西村　日出人氏 根室市　総務部 総務課 防災主査　　熊谷　恵介　氏	根室市の現状と課題 ～いま、「地域づくり」に何が必要か～	14
根室地区会＆山高会合同望年例会 12 月 10 日			20
新春講演会＆ 新年交礼会 1 月 28 日	公益財団法人　北海道科学技術総合振興センター 常務理事　伊藤　英喜　氏 （元北海道経済産業局　地域経済部長）	地域経済待った無し！ 地域資源の掘り起こしとビジネスの創出	31
じもと×しごと発見フェア 2 月 13 日	主催：北海道 共催：根室地区会 根室地域雇用ネットワーク会議		企業 20 社 生徒 52 名
3 月例会 3 月 13 日 個別相談会 3 月 14 日	独立行政法人中小企業基盤整備機構　北海道本部 事業承継コーディネーター 石坂 育仁　氏（中小企業診断士・社会保険労務士）	事業承継対策してますか？ ～5 年先を考えて今からやるべきこと～	14 3

＝＝＝くしろ支部 2018 年度活動のまとめ（4 部会報告）＝＝＝＝＝

≪1. くしろ支部青年部≫==========

くしろ支部青年部はくしろ支部統合によって、みけた会（旧釧路支部)、貘の会（旧南しれとこ支部)、山高会（旧根室支部）がそれぞれの組織形態を保ちつつ、同友会理念のもとに広域活動の活発化、根室、釧路経済圏を支える青年経営者・幹部の力量を高めるべく２０１６年４月１６日に発足しました。

今年度は、全道青年部・後継者部会交流会 in くしろを成功させ、各会とも部会員が増えています。今後とも移動距離のハンデを克服しつつ、お互いを高めあってまいります。

■みけた会（釧路）

みけた会は山高会、貘の会と協力し、11 月に「全道青年部・後継者部会交流会 in くしろ」を設営し、盛会裏に終わらせることができました。6 月より実行委員会と、５つの委員会を組織し、準備を進めながら、大会の成功に向けて 4 名の新会員を迎えることができ、45 名となりました。

その他に、新会員報告を中心とした例会を開き、会員同士、交流を深めました。

日　時	名　称	テーマ	報告者	参加
4 月 13 日	全道青年部連絡会			30
4 月 13 日	みけた会第 23 回定時総会・青年部第 3 回定時総会			48
5 月 23 日	第 1 回世話人会			6
5 月 23 日	5 月例会	体験！ファシリテーションの基礎	（株）あゆみ調剤 代表取締役　矢部　政仁 氏	14
6 月 19 日	道青交 in くしろ 第 1 回実行委員会			8
6 月 26 日	6 月例会	①現代の物販 ②異業種に飛び込んだ2年を振り返る	①（株）グリーンアンドレッド 代表取締役　宮前　創　氏 ②（有）竹谷工業所 取締役　竹谷　次郎 氏	15
7 月 19 日	道青交 in くしろ 第 2 回実行委員会			9
8 月 23 日	道青交 in くしろ 第 3 回実行委員会			12
9 月 20 日	道青交 in くしろ 第 4 回実行委員会			11
9 月 22 日	青年部 9 月合同例会 (釧根経営セミナーオプション企画と合同開催)			9

10 月 11 日	道青交 in くしろ 第 5 回実行委員会			9
11 月 9 日	全道青年部・後継者 部会交流会 in くしろ	【記念講演】 IT 経営者が予測する未来 ～新たな価値を創る“Be the One!”へ～ 【グループ討論、報告】 【懇親会】	（株）ワンオブゼム 代表取締役社長　武石 幸之助 氏	153 （内くしろ 36 名）
12 月 5 日	12 月望年例会	①『本当にあってはいけない怖い話』 ②私のこれまでの軌跡（タイヤ痕）	①（株）博善社 代表取締役専務　請川　透 氏 ②（有）丸中釧路タイヤ商工 代表取締役　小栗　直也 氏	18
1 月 18 日	第 2 回世話人会			3
2 月 21 日	第 3 回世話人会			18
2 月 21 日	2 月例会	新会員報告例会	①（株）プラス 店長　村上 達彦 氏 ②（株）榎本機械製作所 代表取締役　長井 拓典 氏 ③（有）丸中釧路タイヤ商工 代表取締役　小栗 直也 氏	18
3 月 20 日	第 4 回世話人会			13
3 月 20 日	3 月例会	青年部でのあゆみと同友会での出会い ～入会と同時にみけた会へ。そして 代表を継いで～	（株）高橋クリーニング 代表取締役 高橋 歩 氏	18

■貘（ばく）の会（南しれとこ）

2018 年度 活動テーマ：共に学び合い、成長し合おう！

2018 年度前半は、11/09 の全道青年部・後継者部会交流会 in くしろ開催に向けた活動が中心でした。貘の会ではグループ討論委員会を担当し、釧路で行われた 5 回の実行委員会には欠かさず参加しました。例会でもグループ討論研究を 3 回実施。一体感をもって準備を整えていきました。本番の討論テーマには貘の会案が採用され、当日の司会を青山代表が、テーマ説明を齊藤直前代表がつとめるなど、道青交の成功に重要な役割を果たしました。

9 月に開催した青年部合同例会は、釧根経営セミナーのオプション企画と共催し、北根室ランチウェイの第二ステージを踏破。参加者総勢 31 名のうち青年部からは 9 名が参加しました。

また、元気な青年部を目指して会勢の拡大に努め、会員数は 2 名増の 10 名となりました。

日時	名　称	テーマ	担当者	参加
4/03	第 25 回 定時総会			11
4/13	くしろ支部青年部 第 3 回定時総会			47

5/15	5月例会	みんなで考えよう！今年度の活動について		10
6/13	6月例会	やってみよう、グループ討論！ ～道青交のグループ討論テーマを揉む～		9
6/19	道青交 in くしろ 第1回実行委員会			8
6/29	道東3地区青年経営者･後継者部会交流会 in オホーツク	カーリング交流会＆焼肉懇親会	ゲスト：鈴木 夕湖　氏 （ロコ・ソラーレ北見） 大森 達也 氏 （ＬＳ北見トレーナー）	13
7/11	7月例会	紙を知ろう 自社紹介	雨宮印刷㈱ 常務取締役　佐藤 学 氏 菱中産業㈱ 山崎 大介 氏	10
7/19	道青交 in くしろ 第2回実行委員会			9
8/21	8月例会	消費税軽減税率	㈱オーレンス総合経営 公認会計士・税理士 枝 大樹 氏	9
8/23	道青交 in くしろ 第3回実行委員会			12
9/11	9月臨時例会	道青交グループ討論テーマの説明を考える	小針土建㈱ 経理部長　齊藤 貢 氏	4
9/20	道青交 in くしろ 第4回実行委員会			11
9/22	くしろ支部青年部合同例会		（釧根経営セミナーオプション企画と合同開催）	9
10/09	10月臨時例会	道青交 グループ討論のリハーサル （グループ長研修）	小針土建㈱ 経理部長　齊藤 貢 氏	11
10/11	道青交 in くしろ 第5回実行委員会			9
10/26	道青交 in くしろ 決起集会			22
11/09	くしろ支部　全道青年部・後継者部会交流会 in くしろ	IT経営者が予測する未来 ～新たな価値を創る“Be the One!”へ～ 【グループ討論】 どのようにして社員をやる気にさせるか	㈱ワンオブゼム 代表取締役社長 武石 幸之助 氏	153
12/22	望年会		㈲今野電工 専務取締役　今野 朋弥 氏	8
1/31	1月例会	テーマ：4Kテレビについて	小柳電機㈱ 三代目 小柳 佑樹 氏	7
2/25	2月例会	テーマ：相続	弁護士法人荒井･久保田総合法律事務所 弁護士　鍛冶 孝亮　氏	10
3/14	3月例会	テーマ：旅行にまつわる税金関係 ～増える「観光税」について～	㈱トーヨーグランドホテル 支配人　前田 隆史　氏	7

■山高会（根室エリア）

2018年度は、「ゴートゥザフューチャー　激変時代の未来経済に乗る為に僕らは新しき未来を想像する」をテーマに、各社のIT化の現状と課題や新ビジネスの可能性を探る企画など、様々な例会を実施しました。

道東地区でのアクテビティ模索や離島ビジネスモデルを学ぶ訪問例会は開催できませんでしたが、釧路で開催した道青交に向けて各青年部が協力した１年となりました。

日時	名称	テーマ	報告者・講師	参加
4/5	山高会 第 27 回総会			6
5/9	山高会 5 月例会	地方都市と自社の IT 革命への対応	荒木塗装店　代表　荒木　正人氏	8
6/29	道東 3 地区青年経営者･後継者部会　交流会ｉｎオホーツク	※山高会　6 月例会　として開催 カーリング交流会&焼肉懇親会		6
7/20	山高会 7 月例会	Drone's new gate（ドローンの新しき門）～航空ルールとドローンライセンスを学ぶ～	（株）根室相互自動車学校 代表取締役　宮田　敏美　氏 （ドローン検定公認指導員）	5
8/26	山高会・ 根室地区会交流会	山高祭 2018 ボウリング大会&焼肉交流会		16
9/22	支部青年部 合同例会	くしろ支部青年部 9 月合同例会（釧根経営セミナーオプション企画と合同開催）		
11/9	全道全道青年部･後継者部会交流会 in くしろ	IT 経営者が予測する未来 ～新たな価値を創る“Be the One!”へ～	(株)ワンオブゼム　代表取締役社長 武石 幸之助 氏	153
11/21	山高会 11 月例会	災害非常食及び食糧難時代に向けての食とビジネスを考える		3
2/26	山高会 2 月例会	次年度の活動方針、活動内容についての検討		6

≪2. あゆみの会≫==========

1）あゆみの会は 1988 年に発会し、2018 年度に設立 30 周年を迎えました。30 周年を記念し、「あゆみの会オープン講演会」および「釧路短期大学ビジネス支援リカレント講座」として、猛禽類医学研究所の渡辺副代表を招いた講演会を共催。同友会員や一般市民 50 名が参加し、身近にある道東の自然環境について学びました。また、講演会ではあゆみの会メンバーが自身の経営体験を語り、地域における中小企業の役割と経営者としての想いを共有しました。

2）釧路地区会副幹事長の（株）プライムネス・八幡社長を招いた報告例会や「ものづくり体験」、望年例会を実施し、あゆみの会メンバーだけではなく、オブザーバーの方にも多数参加いただき、活発な活動を展開しました。

≪3.マルチメディア研究会≫==========

1) 2018 年度は報告例会を中心に例会を開催しました。最近話題の AI や RPA について、会員自らが学び、報告しあう例会を企画・実施し、相互に学び合ってまいりました。

2) 恒例となった一泊研修会を 2018 年度は厚岸にて開催しました。例会及び懇親会では厚岸地区会やルパン浜中地区会の会員にもお越し頂き、部会を通じて地域を超えた交流を行いました。

≪4.釧根農業経営部会≫==========

2013 年 7 月、釧根三支部が連携し 70 社で発会しました。生産・加工・流通のあらゆる業者が集い、釧根地域の潜在能力を引き出す異業種交流、学びあいがスタートしました。

1)第 6 回釧根農業経営部会定時総会では、(株)北海道サラダパプリカ 代表取締役社長 小林 豊 氏が「冷涼な釧路でパプリカ栽培に挑む」をテーマに講演。根釧地域における、様々な資源を利用した新たな農業の可能性について学びました。

2)新幹事による報告例会や、くしろ支部の地区会やとかち支部との合同例会を企画する等、農業を中心に 6 次化や酪農文化の醸成といった多面的なテーマの例会を開催。部会の目的でもある異業種交流や経験交流の推進に努めました。

3)担当幹事による例会企画・運営に新たに取り組み、時流に沿ったテーマや地域性・業種のネットワークを活かした例会を開催。移動例会やチーズセミナーは会員からも好評で、多くの会員が学びに参加しました。

4)2 月の南九州視察研修では、サンキョーミート有明工場、志布志港の視察を実施。畜産農業と食肉加工、バルク港湾の機能について学び、根釧の新たな産業の可能性を探りました。

＜2018 年度　釧根農業経営部会　活動のあゆみ＞

日　時	行　事	参加
4 月 3 日	◆釧根農業経営部会　第 6 回定時総会 (会場：ANA クラウンプラザホテル釧路) 【テーマ】冷涼な釧路でパプリカ栽培に挑む 【講　師】(株) 北海道サラダパプリカ 代表取締役社長 小林 豊 氏	44
4 月 27 日	◇第 1 回　幹事会	6
6 月 8 日	◆釧根農業経営部会　6 月例会　※新幹事報告例会	16

	(会場：厚岸町　オイスターバー　牡蠣場) 【テーマ】自然に囲まれ 23 年。「道半ば」の酪農経営 【報告者】(有) 阿寒グリーンヒルファーム　代表取締役　鈴木　忠 氏 【テーマ】新「カキえもん」物語 【報告者】カキキン(有)　代表取締役　中嶋　均 氏	
7 月 17 日	① 酪農家が家族の為に作るチーズ講習会(in 鶴居)	
7 月 18 日	◆南しれとこ地区会&釧根農業経営部会　7 月オープン例会 (会場：中標津町　ushiyado) 【テーマ】DOYUKAI で出会い、生まれた ushiyado 【報告者】ushiyado 共同代表 竹下 耕介 氏((有)竹下牧場 代表取締役)	28
8 月 21 日	② 酪農家が家族の為に作るチーズ講習会(in 鶴居)	
9 月 18 日	◇第 2 回　幹事会	11
10 月 19 日～20 日	10/19～20　全道経営者“共育”研究集会 in とかち	
11 月 1 日～2 日	◆釧根農業経営部会 11 月例会(とかち支部農業経営部会との合同例会) 浜中町農業協同組合酪農技術センター、中山農場、希望農場　視察 ※昼食はレストラン ATTOKO(明郷 伊藤牧場) 【報告者】(会場：中標津町　ushiyado) (有)中山農場　代表取締役　中山　勝志　氏(くしろ支部) (有)福田農場　代表取締役　福田　博明　氏(とかち支部)	35
12 月 6 日	◆釧根農業経営部会　望年例会 (会場：釧路プリンスホテル) 【テーマ】国際バルク港湾戦略と穀物物流 【報告者】三井物産(株) 食料本部 食糧事業部 飼料穀物室 畑 佳昴　氏	30
12 月 27 日	◇第 3 回幹事会	11
2 月 17 日	◆釧根農業経営部会　2 月例会 (会場：三ツ輪ビル) 「ホンモノを知るためのチーズセミナーin 釧路」 第 1 部～チーズ学校短期入学報告会 【テーマ】イタリアで学んだチーズ作りとその歴史 【報告者】(有)竹下牧場　代表取締役　竹下 耕介 氏 第 2 部～チーズ実食会 【テーマ】チーズの味を知ろう 【報告者】(株)白糠酪恵舎　代表取締役　井ノ口 和良 氏	15
2 月 24 日～26 日	◆先進地視察研修(九州) サンキョーミート有明工場、志布志港の視察を実施	10
3 月 5 日	◆別海地区会&釧根農業経営部会　3 月オープン例会 (会場：別海町交流館ぷらと)	43

	「ホンモノを知るためのチーズセミナーin 別海」 第 1 部～チーズ学校短期入学報告会 【テーマ】イタリアで学んだチーズ作りとその歴史 【報告者】(有)竹下牧場　代表取締役　竹下 耕介 氏 第 2 部～チーズ実食会 【テーマ】チーズの味を知ろう 【報告者】(株)白糠酪恵舎　代表取締役　井ノ口 和良 氏	
3 月 20 日	◇第 4 回　幹事会	7
4 月 22 日	◇第 5 回　幹事会	

≪5. 同友会くしろ幹部大学同窓会≫==========

・幹部大学同窓会では、活動方針に基づき、年度計画を着実に実施し、同窓会らしい学びを実践してまいりました。2018 年度は恒例となった修了生歓迎会を行い、第 26 期修了生の報告例会を開催したほか、現幹事の業種報告例会を開催するなど、同窓会のメンバー同士での報告例会を実施し、交流と異業種理解を深めました。

また、釧路公立大学中村ゼミとの交流例会や、舞台俳優の立浪氏を講師に招いた演劇例会、更には釧路湿原温根内ビジターセンターへのフィールドワーク例会など、多彩な学びを展開して参りました。第 26 期同友会くしろ幹部大学の開講に際しては、各講の進行やグループワークのサポート、第 8 講の問題提起を担当するなど、同窓会の新しい活躍と学びの場が広がりました。

＝＝くしろ支部 2018 年度活動のまとめ（3 同好会報告）＝＝＝＝＝

≪1. ノイズ倶楽部≫==========

出演バンド【4 バンド】、来場者は【227】名でした。メンバーの積極的なチケット販売、声掛けもあって、チケット販売数 315 枚に対して 7 割以上の来場がありました。

今年も、趣味を通じて会員間の親睦を深めました。

≪2. ゴルフ同好会≫==========

今年度は計画の通り４回の例会を行いました。

参加率も高く、趣味を通じて交流を深めて参りました。

開催日	2018 年度活動	人数
6 月 2 日（土）	【6 月例会】釧路カントリー・東コース	15
7 月 7 日（土）	【7 月例会】阿寒カントリー・西コース	12
8 月 18 日（土）	【8 月例会】釧路カントリー・東コース	15
10 月 13 日（土）	【10 月例会】阿寒カントリークラブ丹頂コース×ピリカコース＋納会	17

≪3. ツーリングクラブ≫==========

2018 年度は北見、根室、札幌方面へのツーリングを 3 回開催。各例会とも会員だけではなく、多くのオブザーバーに参加いただき、活動を展開しました。

開催日	活動内容	参加
2018 年　6 月 24 日　（日）	6 月例会（ツーリング／北見方面）	7
2018 年　7 月 22 日　（日）	7 月例会（ツーリング／霧多布・納沙布岬）	15
2018 年 9 月 1（土）～2（日）	9 月一泊例会（ツーリング／札幌方面）	4
2018 年 12 月 1 日　（土）	納　会　　（さかまる別邸　夕凪）	7

議案第２号　２０１８年度決算報告

※別紙決算書をご参照ください

議案第３号　2019 年度支部幹事・会計監査（支部役員）選出

番号	支部内役職	氏名	役職	会社名
1	幹事　（釧路地区会幹事）	長江　勉	取締役会長	長江建材(株)
2	幹事（釧路地区会地区会 会長）	木内　敏子	代表取締役会長	(株)ダスキン釧路
3	幹事　（南しれとこ地区会 会長）	雨宮　慶一	代表取締役	雨宮印刷(株)
4	幹事　（根室地区会 会長）	早川　元	代表取締役	(株)マルコシ・シーガル
5	幹事　（別海地区会 会長）	西原　浩	代表取締役	(有)アークスファーム
6	幹事　（釧路地区会幹事）	曽我部　元親	常務取締役	北泉開発(株)
7	幹事　（厚岸地区会 会長）	成澤　則充	代表取締役社長	(株)ナリテツ
8	幹事　（ルパン浜中地区会 会長）	出口　将平	代表取締役	(株)丸物出口興産
9	幹事　（摩周地区会 会長）	宮田　歓朗	代表取締役社長	(株)宮田電気
10	幹事　（標茶地区会 会長）	小林　浩	代表取締役社長	(有)小林自動車整備工場
11	幹事　（釧路地区会幹事長）	藤井　芳和	代表取締役	(株)トップオブ釧路
12	幹事（南しれとこ地区会幹事長）	青山　隆志	代表取締役	(有)青山商会
13	幹事　（根室地区会幹事長）	田嶋　靖照	取締役ｾﾞﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ	(株)ナカイチ
14	幹事　（別海地区会幹事長）	髙橋　宗靖	代表取締役	(株)高橋工業
15	幹事　（標茶地区会幹事長）	石栗　征剛	局長	日本郵便(株)標茶郵便局
16	幹事　（厚岸地区会幹事長）	中島　健洋	常務取締役	(有)平良木新聞店
17	幹事（ルパン浜中地区会幹事長）	澤辺　慎也	代表	Rec
18	幹事　（摩周地区会幹事長）	竹森　英彦	代表取締役	(株)摩周調剤薬局
19	幹事　（釧路地区会幹事）	櫻井　英裕	代表取締役	リブラス(株)
20	幹事(新)　（釧路地区会幹事）	酒田　浩之	副理事長	NPO 法人 和
21	幹事(新)　（釧路地区会幹事）	八幡　好洋	代表取締役	(株)プライムネス
22	幹事　（釧路地区会幹事）	佐藤　公一郎	代表取締役社長	(株)山一佐藤紙店
23	幹事　（釧路地区会幹事）	福井　克美	代表取締役	(株)トーテック
24	幹事　（釧路地区会幹事）	亀岡　孝	代表取締役	綜合設備(株)
25	幹事　（根室地区会幹事）	髙岡　一朗	代表取締役	根室スチレン(株)
26	幹事　（ルパン浜中地区会幹事）	石橋　榮紀	代表理事会長	浜中町農業協同組合
会計監査				
1	会計監査	北山　幸徳	税理士	北山幸徳税理士事務所
2	会計監査	中井　厚志	代表取締役	日章運輸機工(株)

議案第４号　2019 年度活動方針

≪スローガン≫

原点回帰！『人を生かす経営』を実践し、魅力ある企業づくりを目指そう！

会員 700 社の知恵と経験を交流し、企業づくり・地域づくり・同友会づくりを進めてまいりましょう！

＜企業づくり＞

・10 年後も元気な企業であるために、「労使見解」に基づく経営指針の成文化と実践を推進する
・経営者も社員も企業活動を通じて自己成長、自己実現ができるよう、全社一丸となって共育力向上に取り組む
・採用難の時代に「選ばれる会社」になるために、経営指針の実践、共育力向上の取組みと、その発信力強化で、誰しもが自主的に活躍する会社づくりを行う

＜地域づくり＞

・地域の“経営指針”である中小企業振興基本条例の制定と活用を進めるために、行政や教育機関、地域内各団体などとの連帯を深め、中小企業が輝く持続可能な地域をつくる。

＜同友会づくり＞

・北海道同友会創立 50 周年にあたり、異業種の会員が率直に経営体験を交流し、民主的に学び合う同友会の原点に立ち返る。
・元気な企業、豊かな地域を共に未来へとつなぐ仲間を増やし、735 社会員を目指す。

◎支部方針に基づいた 8 地区会の 2019 年度活動計画-------

≪1. 釧路地区会≫==========

≪スローガン≫

時代の大きな転換期、今こそ力を合わせ、新たな挑戦を！

＜企業づくり＞

１．求人・共育活動、経営指針を実践し、地域のライフラインとして、雇用、経済を支え、地域から必要とされる企業づくりを目指しましょう！

＜地域づくり＞

２．釧路市中小企業基本条例に基づき、行政、教育機関、他団体と連携して地域課題の解決を図り、魅力ある地域づくりを推進しよう！

＜同友会づくり＞

3.「知り合い、学び合い、援け合い」を合言葉に、一人ひとりが主役として輝く地区会活動を目指そう！

≪2. 厚岸地区会≫==========

1）経営指針を軸に、同友会の 3 つの柱を学び合う例会を開催します。
2）他支部や他地域との合同例会を開催し、交流の中から地元厚岸の魅力を再発見します。
3）役員や事務局による会員訪問を積極的に行い、地域の期待に応える活動を展開していきます。

≪3. 摩周地区会≫==========

1）弟子屈町中小企業基本条例を大いに活用した地域経済振興策の検討と要望の発信。役場、商工会、観光協会、農協と連携し政策提言に向けての勉強会を開催し、協議会の再構築を検討する。（摩周 DMO（仮称）についての勉強会など）
2）会員の経験と知識の交流を目指した、会員報告例会を積極的に開催する。
3）地元教育機関との連携を深め、高校だけでなく、小学生・中学生も対象としたキャリア教育に取り組む。
4）「美味しい例会」を開催し、地域の美味しいものやその魅力を再発見する。
5）同友会の活動を会員外に広く知ってもらうための、地域の要望に応える勉強会を企画・開催する。

≪4.標茶地区会≫==========

1）労務管理のセミナーなど、会員の要望を反映した例会を企画し、地域や会員のための活動に取組もう。
2）他地域から講師を招いた例会や、まちづくり先進地への視察を行い、地域間交流を深めよう。
3）標茶高校との懇談会や企業経営者による講話を開催し、地域の将来を担う若年者の人材育成、職業観の形成、地元定着を目指し、教育機関との連携を進めよう。

≪5.ルパン浜中地区会≫==========

1. ルパン浜中地区会員と、根釧エリアの会員企業報告から学び、経営体の強化を図ります。
2. 経営者と社員が共に学びあえる例会を企画し、事務局と役員が協力し訪問や声掛けなどを行い、例会の出席率を高めます。
3. 地域経済について学ぶ機会をつくり、各団体と連携し、(仮)中小企業振興基本条例の制定運動に取り組みます。
4. 経営者や地元企業への理解を深め、地元就職の促進を目指し、霧多布高校との懇談会や説明会等を企画します。

≪6.南しれとこ地区会≫==========

≪スローガン≫　共に学び、元気な地域を次の世代へつなごう！

■南しれとこ地区会活動方針

1. 同友会の原点を大切に、３つの目的に沿った学びあい活動を展開しよう
同友会の原点である「異業種で集い、語り合い、学びあう」スタイルを大切に、自己研鑽と、地域と共に飛躍していく企業づくりを行うために、地域や時代の課題を話し合う例会や、事業承継、経営指針づくりの重要性を喚起するような例会、会員報告例会などを開催します。

2. 新会員や会員歴が長い会員が積極的に参加できる学びの場づくりを目指そう
各委員会、プロジェクト、会議で、会員のニーズに応え、様々な世代が参加しやすい例会や交流の場づくりを進めます。また、青年経営者・企業幹部の活躍の場を増やします。

3. 中小企業振興基本条例に基づいた地域づくりを推進しよう
中標津町中小企業振興基本条例を基に、行政や町議会・他団体などと連携・交流するとともに、審議会を通して必要な施策提言を行います。

4. くしろ支部各地区会との交流と連携を促進しよう
くしろ支部には 8 地区会が活動を展開しています。支部企画への参加や全道・全国企画に共に参加するなど、各地区会との交流を通して広域で会員間連携を図ります。

5. 南しれとこ地区会 72 社会員を目指そう
学びあう仲間が増えることは、地域の活力につながります。地区会会員数 72 社に向け、精力的に活動を展開しよう。

≪7. 別海地区会≫==========

◇2019 年度スローガン
不易流行～持続可能な未来へ！～
※不易流行…いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、
新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。

◇全体目標
■会員の結集率を高めるとともに、地域との関わりを深め、90 社地区会員を達成しよう。
■くしろ支部のみならず、全道・全国の他地域、企業との交流や連携を具体化しよう。
■別海町中小企業振興基本条例を活用した、地域経済振興策を各団体と連携して推進しよう。
■経営指針成文化研究会の活動を充実させよう。
■別海町医療サポート隊「医良同友」の活動を地域に発信するなど、地域住民との連携・交流を更に深め、住みよいまちづくりに貢献しよう。
■効果的な中小企業振興策を的確かつ迅速に行うため、町の中小企業振興施策について研究しよう。
■会員一人ひとりが辞書の１ページ。地区会の会員が報告する例会を開こう。

◇幹事会
■中小企業振興基本条例に基づき、振興策を協議する会議体に参画する。
■京都大学による地域経済分析結果（岡田レポート）を踏まえた地域振興策の協議、立案、提言を行う。
■産業間連携を推進する「産業連携室（仮称）」設置の実現に向けて働きかける。
■地域医療を守る「医良同友」の推進とパートナーシップの強化を図る。
■同友会活動を広く理解する為に同友会理念、経済学の考察を深める例会を企画する。
■人口減少を少しでも抑制する為、未来の定住、人口増に繋がる活動の推進。
■会員同士の融合、協力、団結を深める為、懇親の場をもって連帯感の醸成を促進する。
■民主的な会運営を図るべく地区総会の開催を行う。
■地域経済の連続性を鑑み、将来のオピニオンリーダーとなりえる世代への学習意欲、向上心、愛郷心を育むため、各学術機関との連携を図り、子供たちへの体験留学を行う。
■委員会の再編を研究し、組織変更に取り組む

２０１９年度　別海地区会 委員会方針

◇良い会社づくり委員会　【第１委員会】

・全国の優れた会社、団体の組織論、運営方法の事例報告に学ぶ。
・経営指針成文化に向けた運動の推進、勉強会の開催。
・良い会社づくりを目指したモチベーションアップを図る企画・イベントの実施。

◇良い経営者づくり委員会　【第２委員会】

・全国の企業経営者の経営哲学、人格形成に必要な思想を学ぶ。
・様々な専門家より経営に必要な知識を学ぶ。

◇良い経営環境づくり委員会　【第３委員会】

・現状認識を踏まえる為、地域の歴史、経済を学ぶ。
・地元教育機関との連携を深め、教員との懇談会や、職業観の醸成を共育的観点で推進を図る。
・地域をとりまく、社会・経済・政治的な問題を、他団体と共有を図り連携を深める。
・企業マップを活用し、地域教育に役立てるとともに求人活動に取り組む

◇農業・水産委員会　【第４委員会】

・酪農と水産の発展を他業種や消費者およびグローバルな視点で学ぶ。
・農業水産の付加価値および新たな町内資源の探求。

◇経営指針特別委員会

・経営指針づくりに特化した勉強会を開催する。

≪8. 根室地区会≫==========

≪スローガン≫

会員相互の学び合いを実践し、自社の強靭化と地域の幅を広げよう

1. 会員同士の意見交換や課題共有を軸にした実践的な例会をしよう
2. 悩みが人を成長させる。悩みを仲間で共有できる地区会づくりをしよう
3. 熱意は自分自身で生み出し、知恵はみんなで持ち寄る地区会にしよう
4. 自社の地域への存在を確固たるものにするため、確固たる経営理念を持とう
5. 思考を日々一新し、方法を日々一変できる経営者を目指そう
6. 経営環境改善と企業体質強化を一体化した経営環境を目指そう
7. 会員を貴重な「辞書の１頁」として、根室地区会 70 社会員を目指そう

◎支部方針に基づいた各委員会の 2019 年度活動計画---------

≪1. 組織委員会≫==========

①同友会の目的に沿い、仲間作りの輪をひろげ、既存会員の学びの環境を支援する活動に取り組みます。
②北海道同友会創立 50 周年に向けて、くしろ支部会員数 735 社を達成します。
③小集団活動(一歩の会)のグループ編成を新たにし､同友会らしい学びあいを促進します。
④新会員オリエンテーションを年 2 回開催し、新会員の同友会活動の理解を深めます。
⑤Doyu 交流会等の会員増強イベントを実施し、会内外への同友会活動のＰＲ、会員拡大に取組みます。

≪2. 経営指針委員会≫==========

①「中小企業における労使関係の見解」の精神を学び､「経営指針」の作成・浸透・実践によって、同友会が提唱する「21 世紀型企業」づくりを推進します。
②私たち経営指針委員会は、第 6 期くすり塾を開催し､「経営指針成文化と実践の手引き」に従い、経営指針作りをサポートします。
③くすり塾受講生及び卒業生に対して交流の場を作り､更なる経営指針浸透を支援します。

≪3. 求人委員会≫==========

①各地域において、中途求職者、大学、短大、専門学校、高校等への中小企業の魅力の発信と、人材の確保・定着を図り、会員企業の採用意欲に応えます。
②インターンシップの受け入れなど高校生の就職意欲向上､進路指導を教育機関と連携して行います。

≪4. 共育委員会≫==========

①新入社員研修や 3 年未満研修、ワンポイント研修などを通じて、採用から定着までの一貫した人材育成に取り組みます。
②中堅幹部の総合的な力量を身につけることを目的に「第 27 期幹部大学」を開講します。
③共育にかかわる地区会例会を開催して､共育を実践している経営者の事例報告から学びます。
④会員のニーズに応える研修会を企画・運営していきます。

≪5. 政策委員会≫==========

①各地区会と連携し、根釧の条例未制定自治体に条例制定活動を展開します。
②自治体職員との懇談会を開催、条例制定運動の推進、条例を活用した地域づくりについて経験交流を図ります。
③釧路市ビジネスサポートセンター（k-Biz）と連携し､地域企業振興に取り組みます。

◎くしろ支部各部会 2019 年度活動方針----------

≪1. くしろ支部青年部≫==========

①青年経営者・幹部社員として、今の時代に要求される総合的な能力を身につけるため、学びと実践のサイクルを目指します。

②くしろ支部青年部の 3 グループ合同例会を開催し、根釧の青年部のネットワークをさらに広げます。

③全道・全国行事に参加し、学びを自社と、青年部に還元します。

■みけた会（釧路）

①メリハリをつけた例会と懇親会を通じ、会員間の絆を深め互いに成長し合おう。
- ・同友会の原点に返って、会員が１つのテーマについてじっくり語り合う。
- ・外部から講師を招き、他地域の先進的な経営実践に学び、より実りのある例会にしよう。
- ・全力で親睦を深め、笑顔の絶えない会にする。

②全道・全国規模の同友会活動、特に、全道青年部交流会や全道経営者“共育”研究集会、青年経営者全国交流会に積極的に参加するよう呼びかけます。

③青年部みけた会の存在を会内外にアピールするために、全道の青年経営者を招いてのオープン例会を開催します。

④新会員の加入は、みけた会の活動に新風を吹き込みます。会内外の方に活動を周知し 50 名を目標に会員増強を行います。

■獏（ばく）の会　（南しれとこ）

活動テーマ：活動テーマ：共に学び合い、語り合い、成長し合おう！

■山高会（根室）

活動テーマ：Chance for Change～変革のチャンス～変わるために学ぶ

今年度は色々なものが変わる年である。変わる時代には何かとチャンスが見つかりやすい。
だからこその機会を得るためにも柔軟に沢山の事を共に学んでいく

≪2. あゆみの会≫==========

年間スケジュールに基づき、年に 5～6 回程度の例会を開催します。

1）他地域の女性部との交流例会や、教育機関（釧路短期大学など）と連携した勉強会を企画し、新たな学びを推進します。

2）新会員募集やオブザーバー参加を広く呼びかけ、あゆみの会の活性化を図ります。

≪3. マルチメディア研究会≫==========

１．定例的な例会を開催して IT の発展に会員が対応できる活動を目指します

①定期的に例会を開催し積極的に学びあい、交流します。

・例会は、新しい仲間やオブザーバーが参加しやすいように工夫します

・メンバーによる報告例会を行い、お互いの知識を交流し合います

・他地区への一泊研修会を企画し、部会を超えた幅広い交流を図ります

・釧路高専との連携、AI、スマホのセキュリティー、ネット販売会員報告、SNS についてなどを例会の中で学んでいきます

２．新しい仲間を募り、マルチメディア研究会の活性化を図ります

・新しい仲間を募り、会運営の活性化を図ります

・地区会の例会、研修会と連携してオープン例会を開催します

・トレンドに合わせた例会を開催し、加速化する時代の変化に適応していきます

≪4. 釧根農業経営部会≫==========

1. 企業家を目指す農業者や関連業者が集まり、異業種交流を推進し互いの経験交流を自社の経営に活かす取組みを行う。
2. 釧根農業経営部会が地域の産業クラスターとしての役割を担い、生産・加工・流通のあらゆる業種が学びあい、根釧地域の活性化を図る。

≪5. 同友会くしろ幹部大学同窓会≫==========

1. 幹部大学での学びを更にレベルアップをするため、活発な例会運営を行います。

①幹部大学での学びを更に深めるため、幅広いテーマの例会を行います。

②地域の教育機関と連携した例会を開きます。

③同窓会の活動について、メンバー全員で考えていきます。

2. 会内での交流を深め、人間的なつながりを深めます。

①第 26 期修了生を歓迎し、共に学びを深めあいます。

②新しく仲間に加わるメンバーも今までのメンバーも相互に知識･経験を交流しあいます。

3. 主体的な組織運営を目指します。

①会員が主体的に動き、学びを自社に持ち帰れるような会を目指します。
②お互いに学び合い、幹部社員として更に教養を広げられるような会運営を目指します。
③Facebook の活用など、会の活動を広く会外に告知します。
④同窓会役員は、地区会例会や支部例会にも積極的に参加し、支部や各地区会との更なる交流を図ります。

◎くしろ支部各同好会の 2019 年度活動方針----------

≪1. ノイズ倶楽部≫==========

・今年度もビアパーティーを開催し、支部の活動を盛り上げます。
・音楽という趣味を通じ、会内の仲間づくりと交流の活性化に貢献します。

≪2. ゴルフ同好会≫==========

・計画に基づき、定期的なゴルフ例会を開催し、会員間の交流を深めましょう。
・毎回定員を目指し、積極的に参加しましょう。
・他支部とのゴルフ交流会を開催し、更に支部を超えた会員間の交流を深めましょう。

≪3. ツーリングクラブ≫==========

根釧地域や十勝方面を中心とした 4 回の例会（ツーリング）と納会を実施します。

議案第５号. くしろ支部 2019 年度予算

※別紙予算案をご参照ください。

議案第６号．全道総会代議員の選出

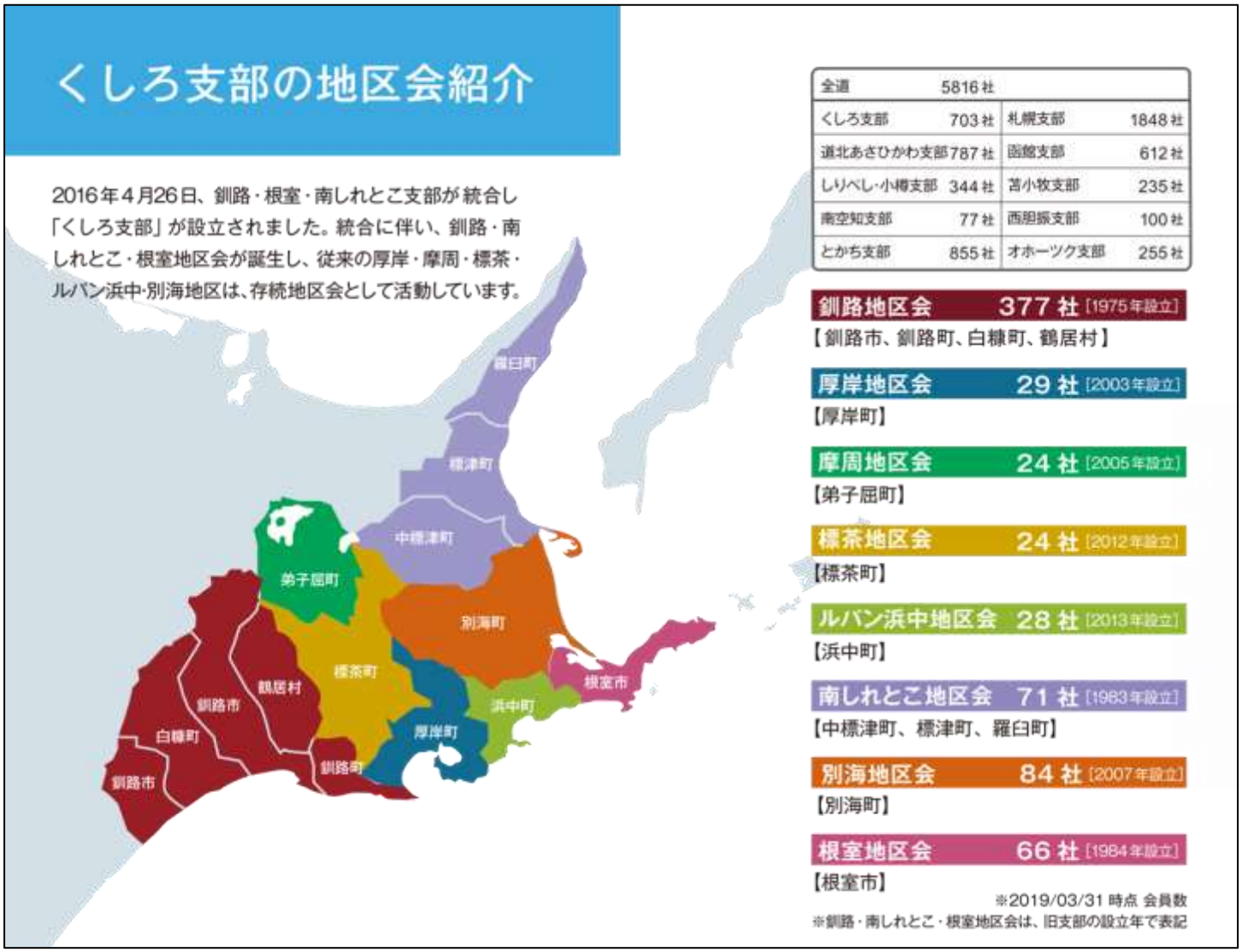
一般社団法人北海道中小企業家同友会第５１回定時総会　代議員(案)

於：６月１１日（火）　京王プラザホテル札幌　14 時

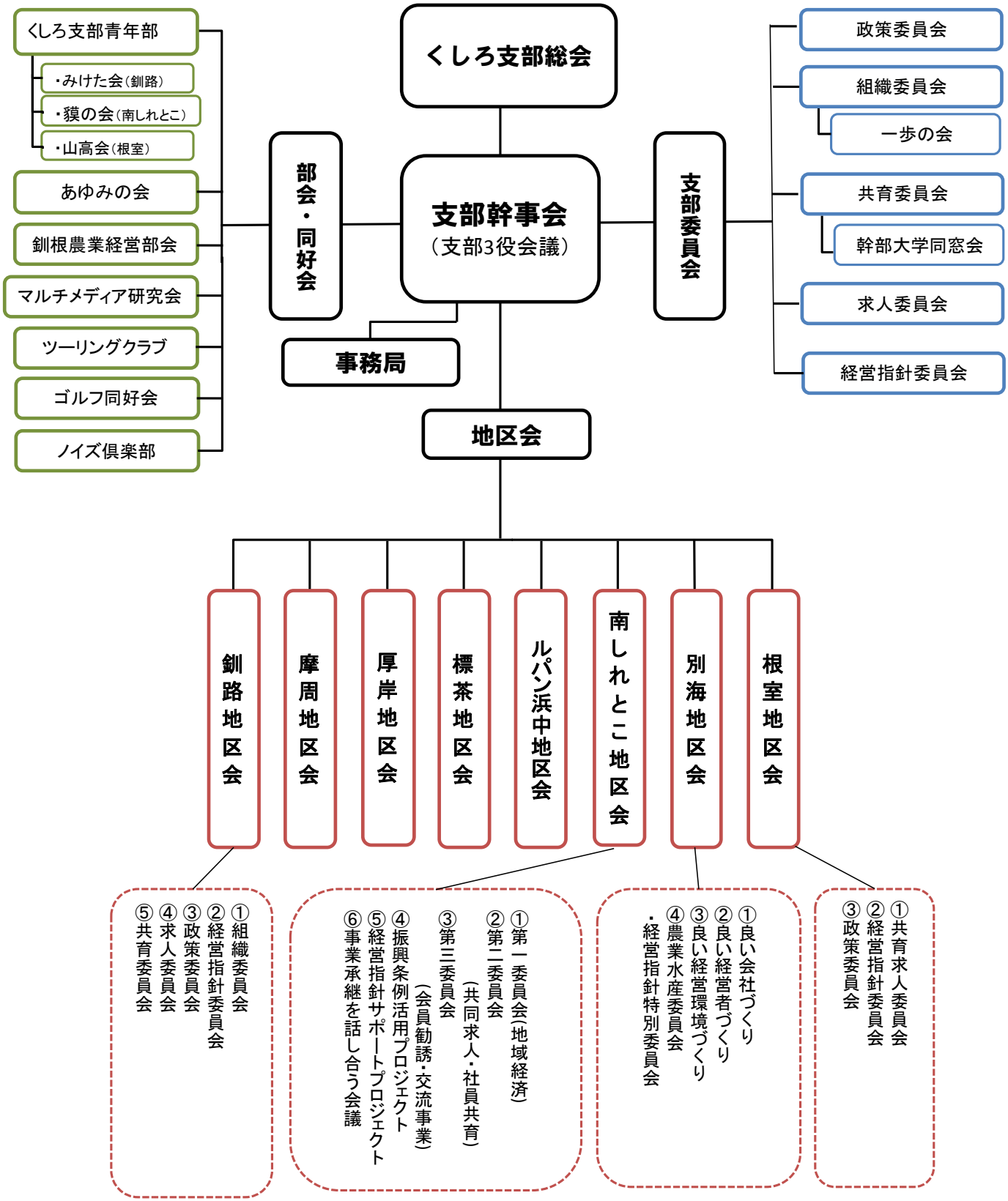
◯くしろ支部選出代議員(定数３７名)　（氏名五十音順・敬称略）

	氏名	会社名	役職	地区会
1	木内　敏子	（株）ダスキン釧路	代表取締役会長	釧路
2	杉本　眞美	西興建設（株）	代表取締役社長	釧路
3	菊地　康平	（株）大起工業	代表取締役	釧路
4	佐藤　公一郎	（株）山一佐藤紙店	代表取締役社長	釧路
5	藤井　芳和	（株）トップオブ釧路	代表取締役	釧路
6	八幡　好洋	（株）プライムネス	代表取締役	釧路
7	酒田　浩之	NPO 法人 和	副理事長	釧路
8	長江　　勉	長江建材（株）	取締役会長	釧路
9	曽我部　元親	北泉開発（株）	常務取締役	釧路
10	森川　浩一	（株）オイコス	代表取締役	釧路
11	乗山　　徹	ファーストコンサルティング（株）	代表取締役	釧路
12	安田　浩佑	（株）ジャパン・プランニング	常務取締役	釧路
13	福井　克美	（株）トーテック	代表取締役	釧路
14	亀岡　　孝	綜合設備（株）	代表取締役	釧路
15	雨宮　慶一	雨宮印刷（株）	代表取締役	南しれとこ
16	青山　隆志	（有）青山商会	代表取締役	南しれとこ
17	日下　雪夫	（株）津村測量設計	代表取締役	南しれとこ
18	渡辺　政之	（有）ワタナベ葬儀社	常務取締役	南しれとこ
19	加藤　昌之	（有）バースコム	代表取締役	南しれとこ
20	葭原　　聡	釧根開発（株）	取締役総務部長	南しれとこ
21	西原　　浩	（有）アークスファーム	代表取締役	別海
22	山口　　寿	富田屋（株）	代表取締役	別海
23	髙橋　宗靖	（株）高橋工業	代表取締役	別海
24	鈴木　尚寿	（有）鈴木建設興業	代表取締役	別海
25	森川　一郎	（株）森川商店	代表取締役	別海
26	外村　　武	（株）ほくえい	代表取締役	別海
27	早川　　元	（株）マルコシ・シーガル	代表取締役	根室
28	髙岡　一朗	根室スチレン（株）	代表取締役	根室
29	成澤　則充	（株）ナリテツ	代表取締役社長	厚岸

30	中島　健洋	（有）平良木新聞店	常務取締役	厚岸
31	宮田　歓朗	（株）宮田電気	代表取締役社長	摩周
32	竹森　英彦	（株）摩周調剤薬局	代表取締役	摩周
33	小林　　浩	（有）小林自動車整備工場	代表取締役	標茶
34	石栗　征剛	日本郵便（株）標茶郵便局	局長	標茶
35	出口　将平	（株）丸物出口興産	代表取締役	ルパン浜中
36	澤辺　慎也	Ｒｅｃ	代表	ルパン浜中
37	石橋　榮紀	浜中町農業協同組合	代表理事組合長	ルパン浜中



2019年度　くしろ支部組織図



Think Small First!

～中小企業は地域と国民生活を支えている～

同友会の３つの目的

１．同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靭な経営体質をつくることをめざします。
２．同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
３．同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

同友会の３つの精神

自主・民主・連帯の精神

同友会の１つのスタンス（同友会のめざす企業像）

国民や地域と共に歩む中小企業

同友会が目指す２１世紀型企業

１．自社の存在意義を改めて問い直すとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準でこたえられる企業。

２．社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え、活力に満ちた豊かな人間集団としての企業。

同友会の合言葉

１．知り合い、学びあい、援けあい、共に繁栄を目指しましょう！
２．きばらず、せかず、諦めず、私たちの要望を実現しましょう！
３．激動をよき友とする経営者になりましょう！

会員間取引の三つの申し合わせ

１．同じものを買うなら会員企業から。会員にはなるべく安くて良いものを提供する。
２．率直に希望を出し合い、仕方なくお義理で取引するのはやめお互いに利益は保障する。
３．取引を通じて、会員同士の友情と信頼が一層深まるよう努力する。